

地域コミュニティの
しくみづくりについて



本日のお話

まちを支えるしくみ

- ① 地域コミュニティのしくみづくり
- ② 行政サテライト機能の再編成
- ③ 新市庁舎の建設

**少子化・高齢化と言われて
いますが**

地域の中を見回してみると・・・

公園で遊ぶ子どもが 減ったと思いませんか？

昔は子どもの声で
にぎやかだったの
に…



お一人暮らしの高齢者やご夫婦だけの高齢者が増えていませんか？

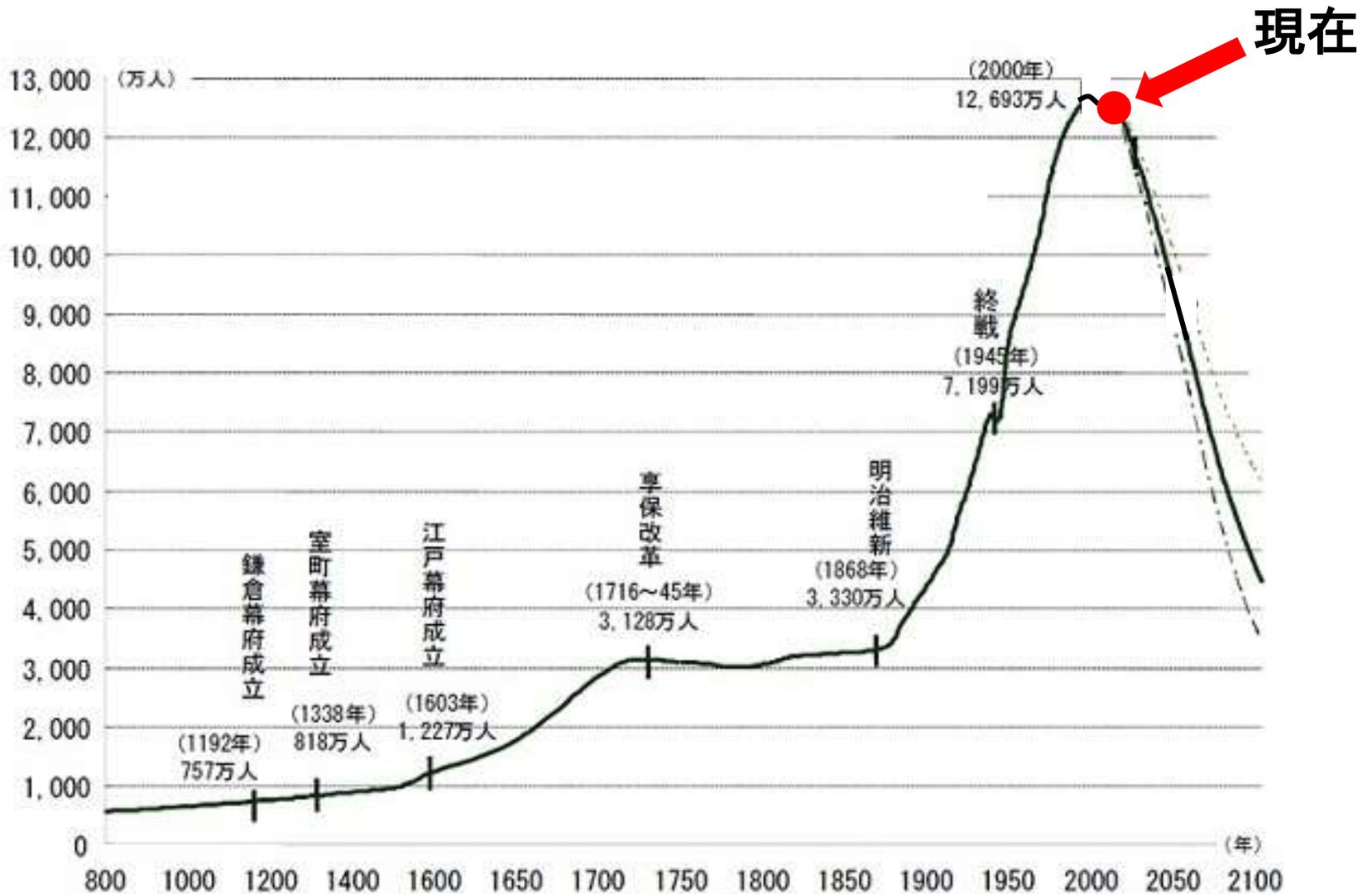
一人の食事は
寂しいのう…

年寄り2人だと、いろ
いろ大変じゃのう…

あのおじいちゃん、
大丈夫かしら…

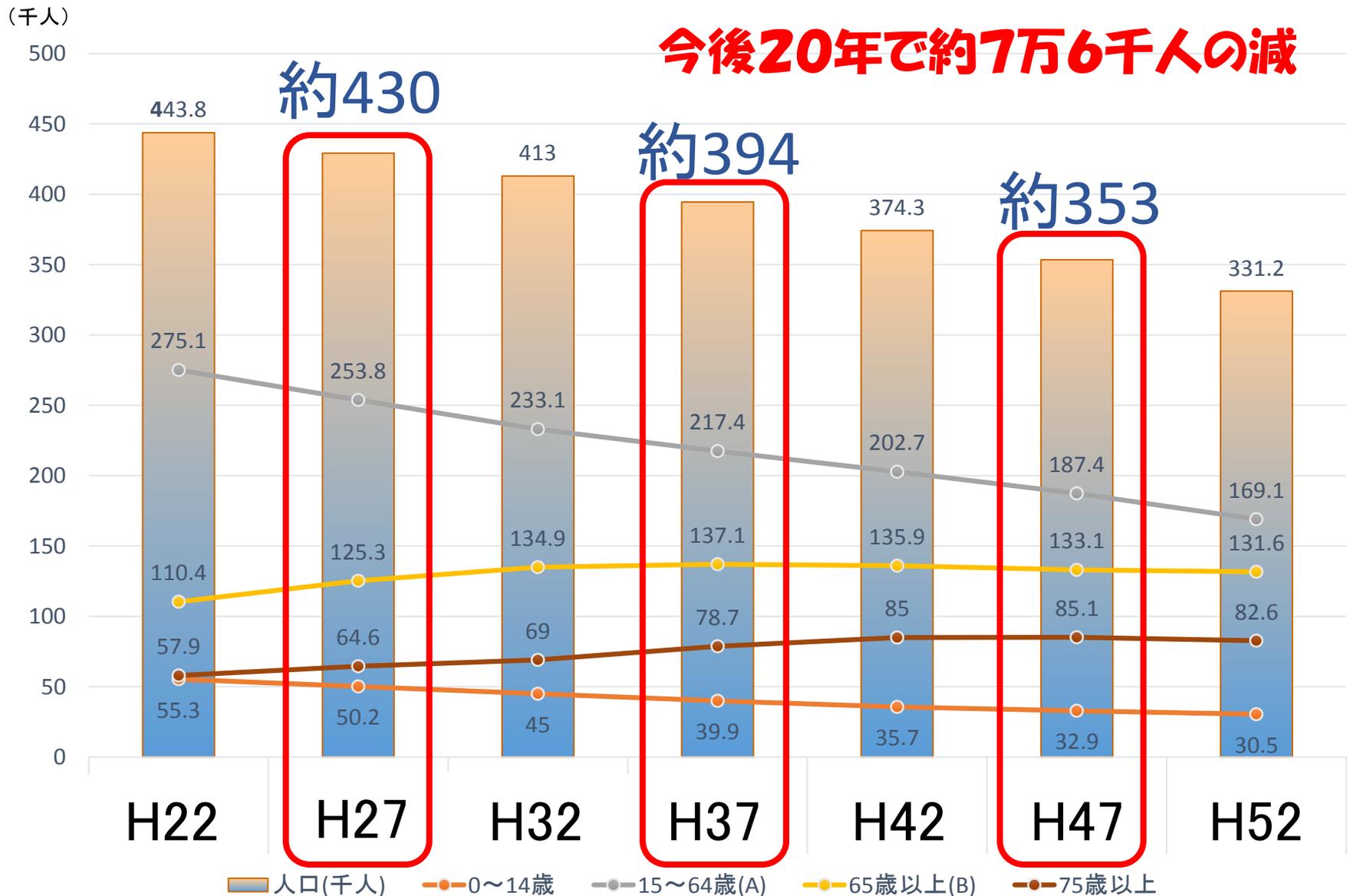


人口は減る時代に入っています



(出典) 2010年以前の人口: 総務省「国勢調査報告」「平成22年国勢調査人口等基本集計」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに国土交通省国土政策局作成
それ以降の人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」をもとに国土交通省国土政策局作成

長崎市の人口も減っていきます

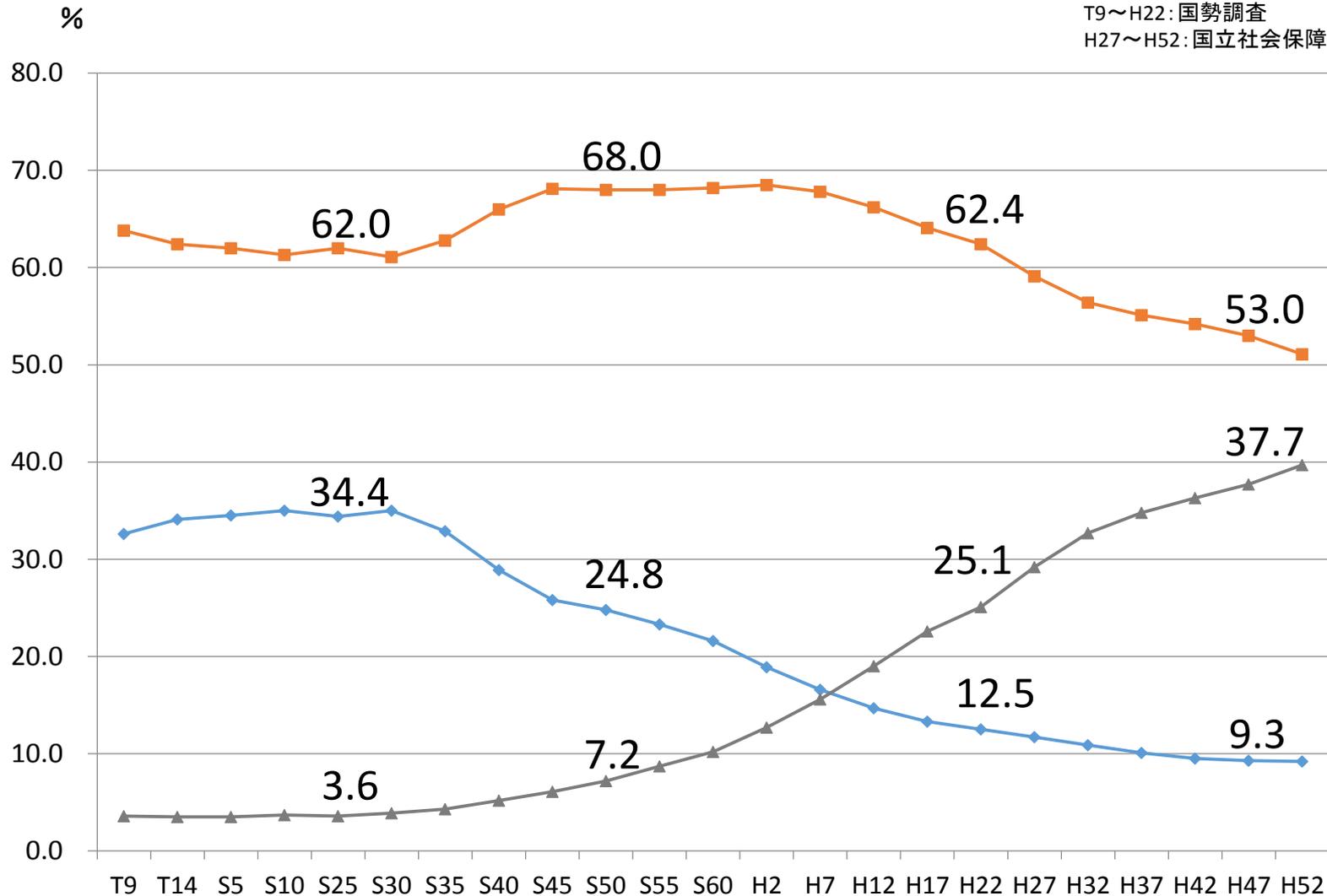


資料：国立社会保障・人口問題研究所（H25. 3月推計）

高齢者は増え、若い世代は減っています

T9～H22: 国勢調査

H27～H52: 国立社会保障・人口問題研究所推計



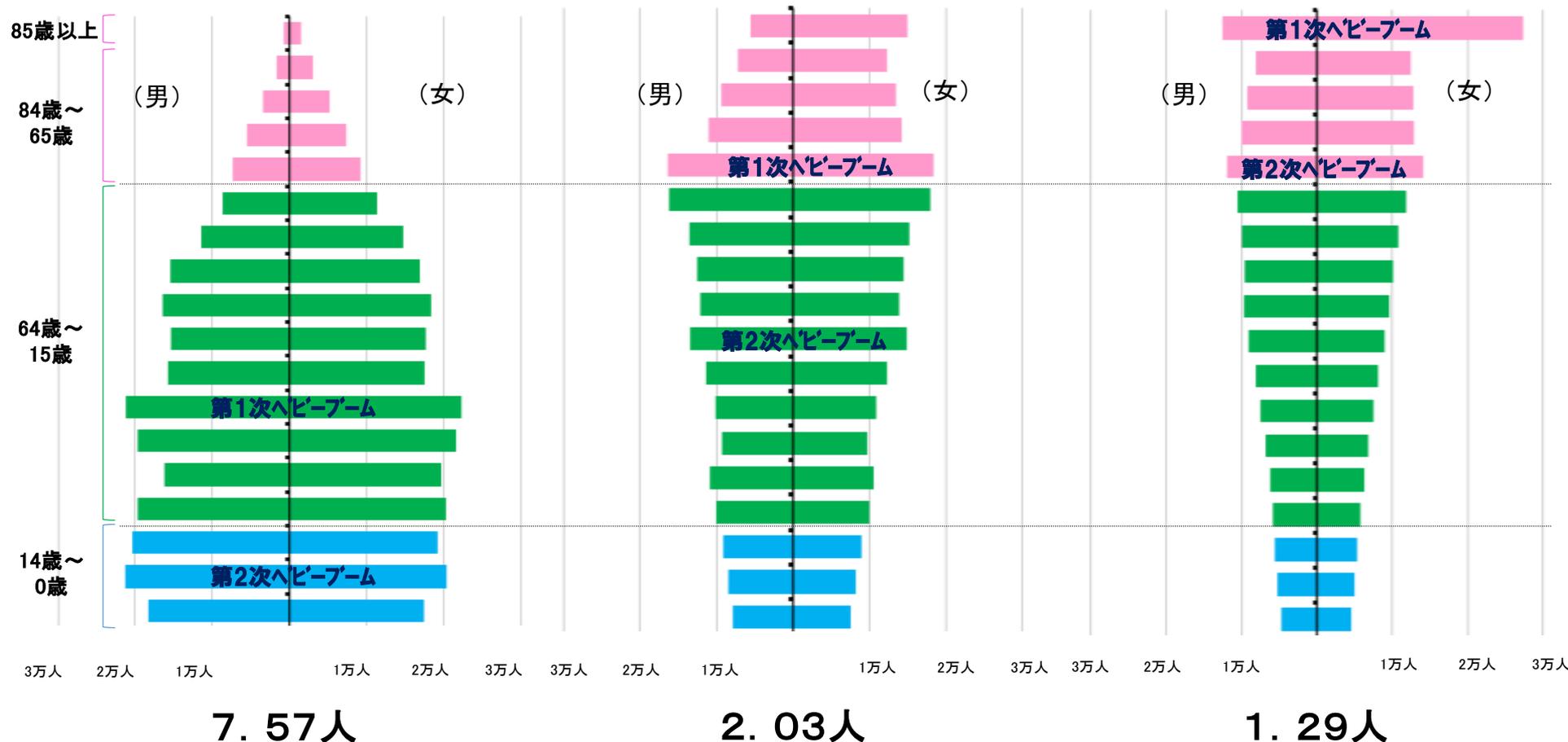
高齢者 1 人を支える人数が減ります

人口ピラミッドの推移

昭和55年

平成27年

平成52年



注1) 合併前の旧町の人口を含む。

注2) 下段の人数は、高齢者(65歳以上)1人を支える生産年齢人口(15～64歳)の人数を示す。

出典: 国勢調査(昭和55年～平成27年)
: 国立社会保障 人口問題研究所(平成47年)

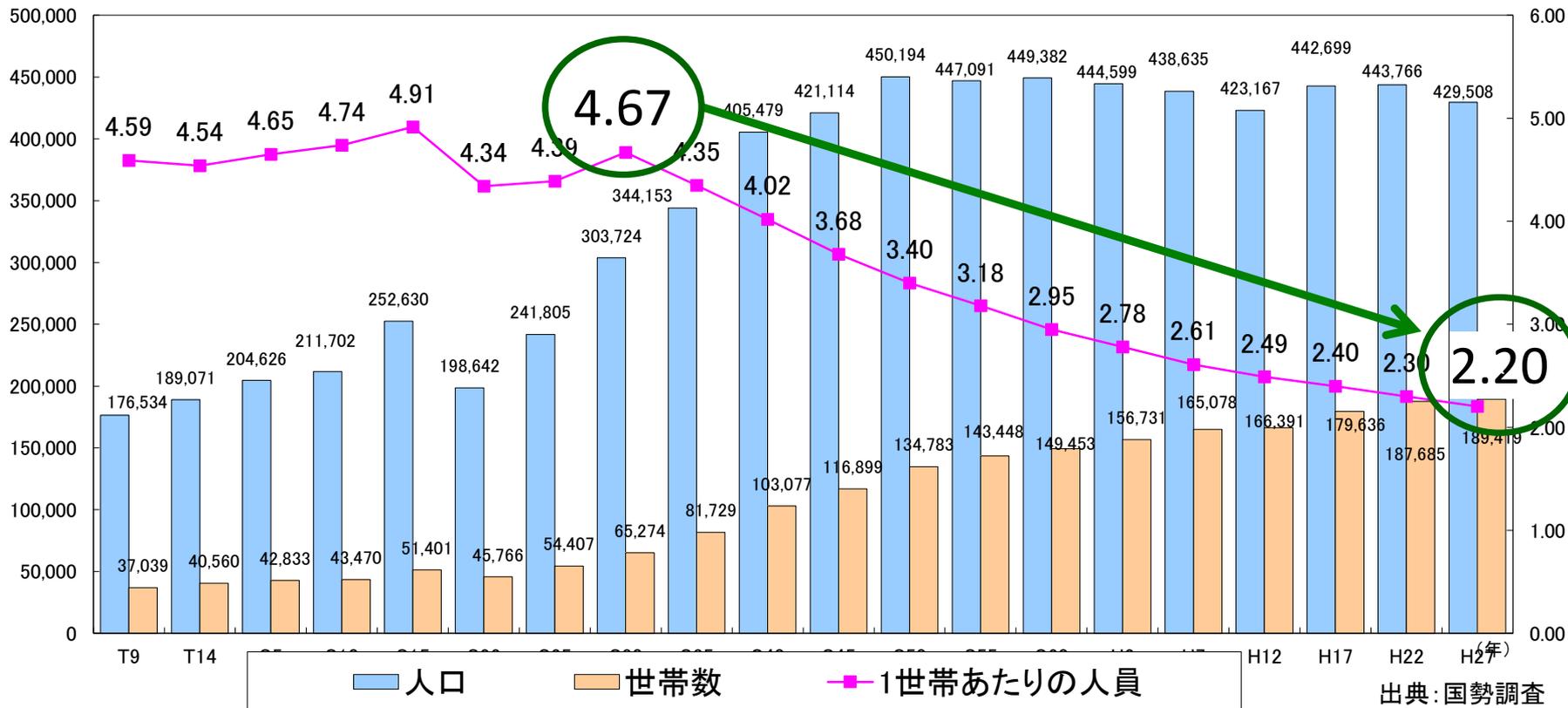
世帯の人数も減っていきます

(人、世帯)

人口、世帯数及び1世帯あたりの人員

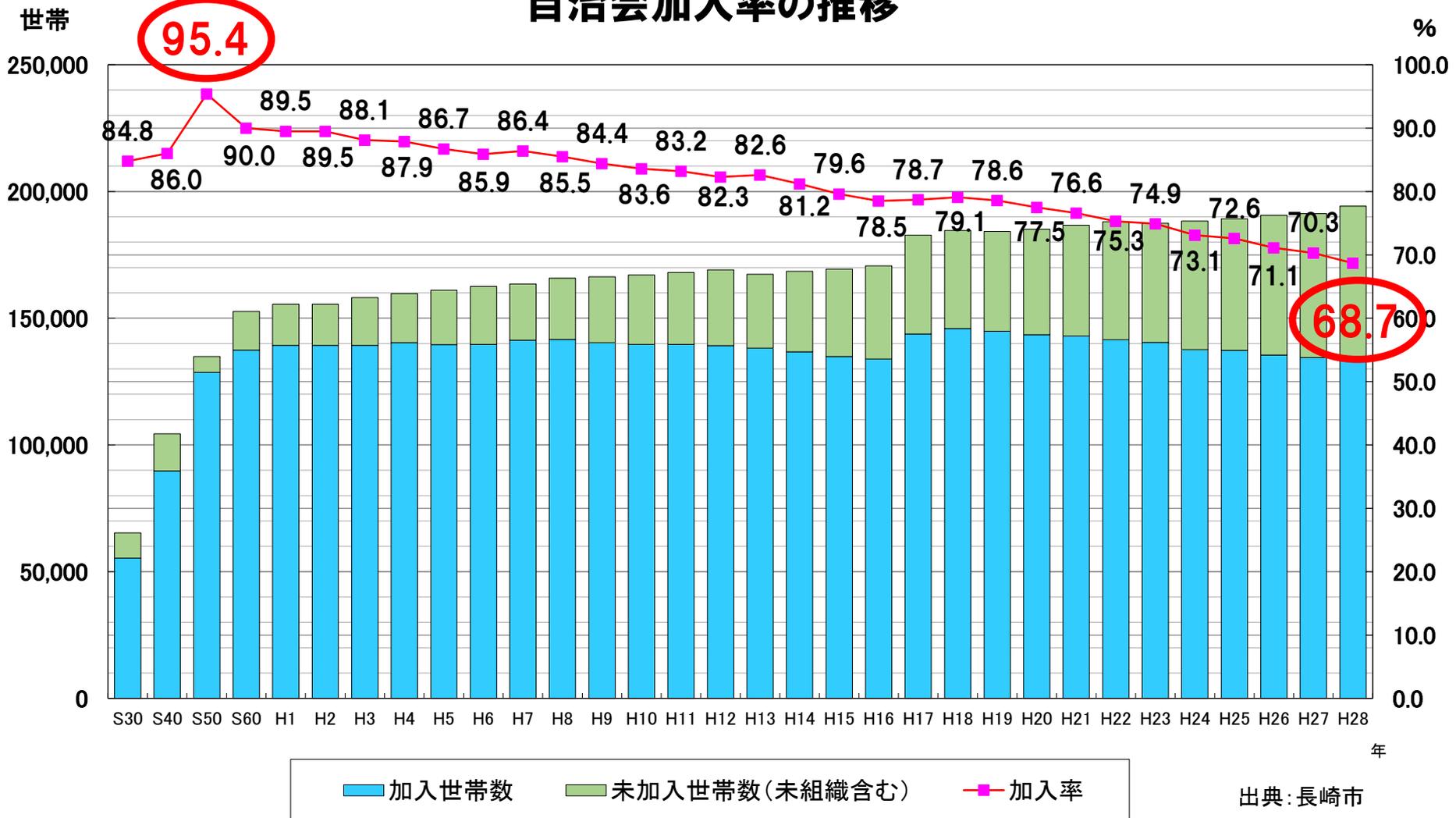
[各年10月1日現在]

(人/世帯)



自治会加入率も下がっています

自治会加入率の推移



**人口が減っても、
少子化・高齢化が進んでも、**

**暮らしやすいまちで
あり続けるには…？**

**新しい時代に合うよう、
しくみを変える・しくみをつくる**



まちを支えるしくみ

- ・地域の力を集めるしくみ
- ・地域を行政が応援するしくみ

～地域力を集めるしくみ～

①地域コミュニティのしくみづくり

住民のみなさんの こんな困りごとに対して

年寄り2人だと、
いろいろ大変じゃのう…



一人の食事は
寂しいのう…



あのおじいちゃん、
大丈夫かしら…



最近は、物騒に
なったし、学校の登
下校、うちの子は
大丈夫かしら…



高齢者のための活動

敬老会



食事会



高齢者サロン



グラウンドゴルフ大会



こどものための活動

子どもを守る100人パトロール



交通安全立哨



子ども向けのイベント



多世代交流などのつながりをつくる活動

まち歩き



ゲーム大会



夏祭り



安全・安心なまちづくりのための活動

防災講習会



ささえあいマップづくり



防災運動会



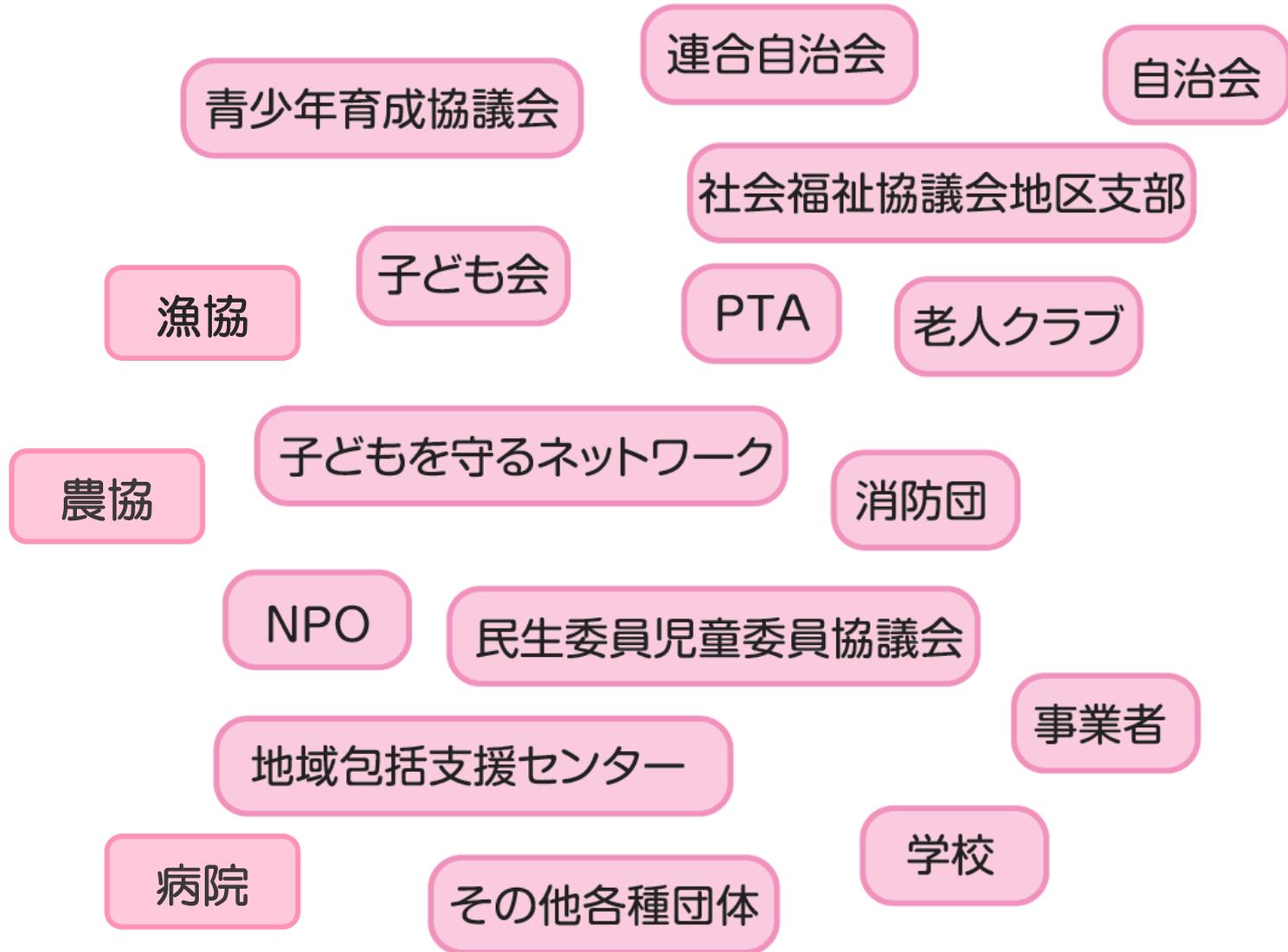
地域の力がとても大切

自分たちのまちは
自分たちでよくする。
長崎のまちをみんな
でつくりましょう！



地域コミュニティの
新しいしくみをご提案します

地域にはいろいろな活動があります



※地域の団体はほかにも色々あります。

地域の力を集めたら...

高齢者や子どもたちを見守ることができる

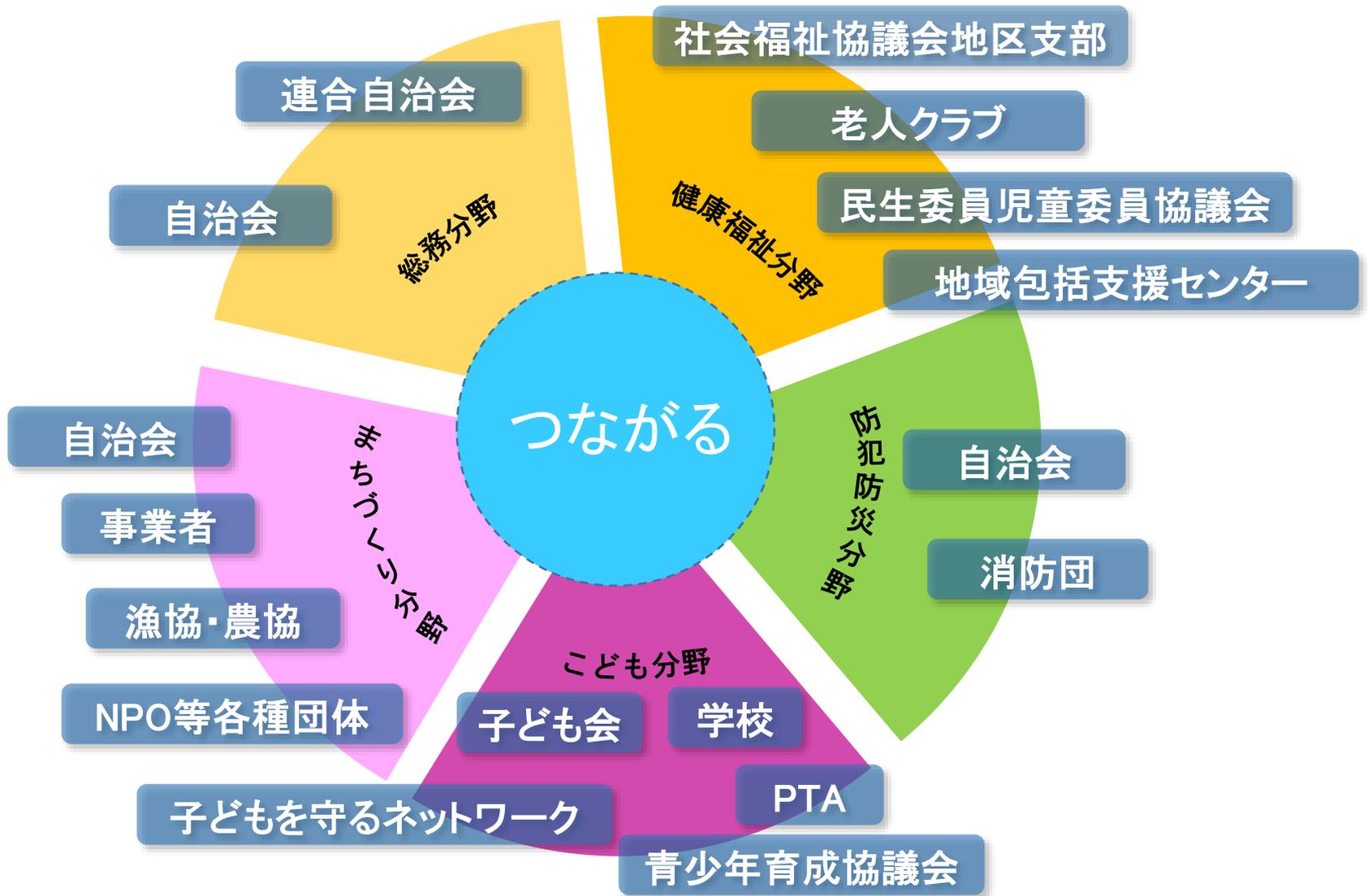
災害のときも助け合える

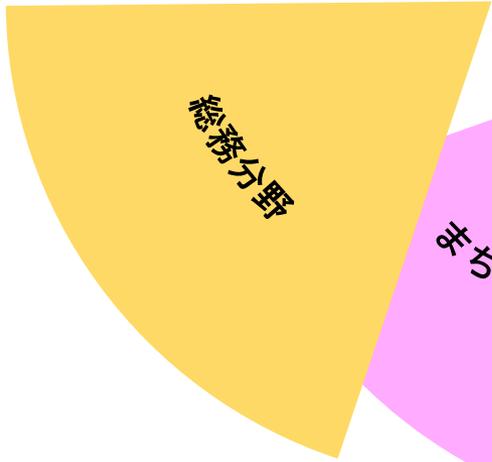
みんなが参加するイベントができる

まちをきれいにできる



活動を分野別に見てみると

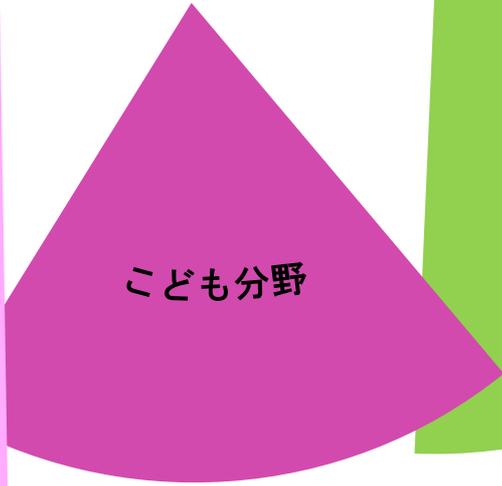




総務分野



まちづくり分野



こども分野



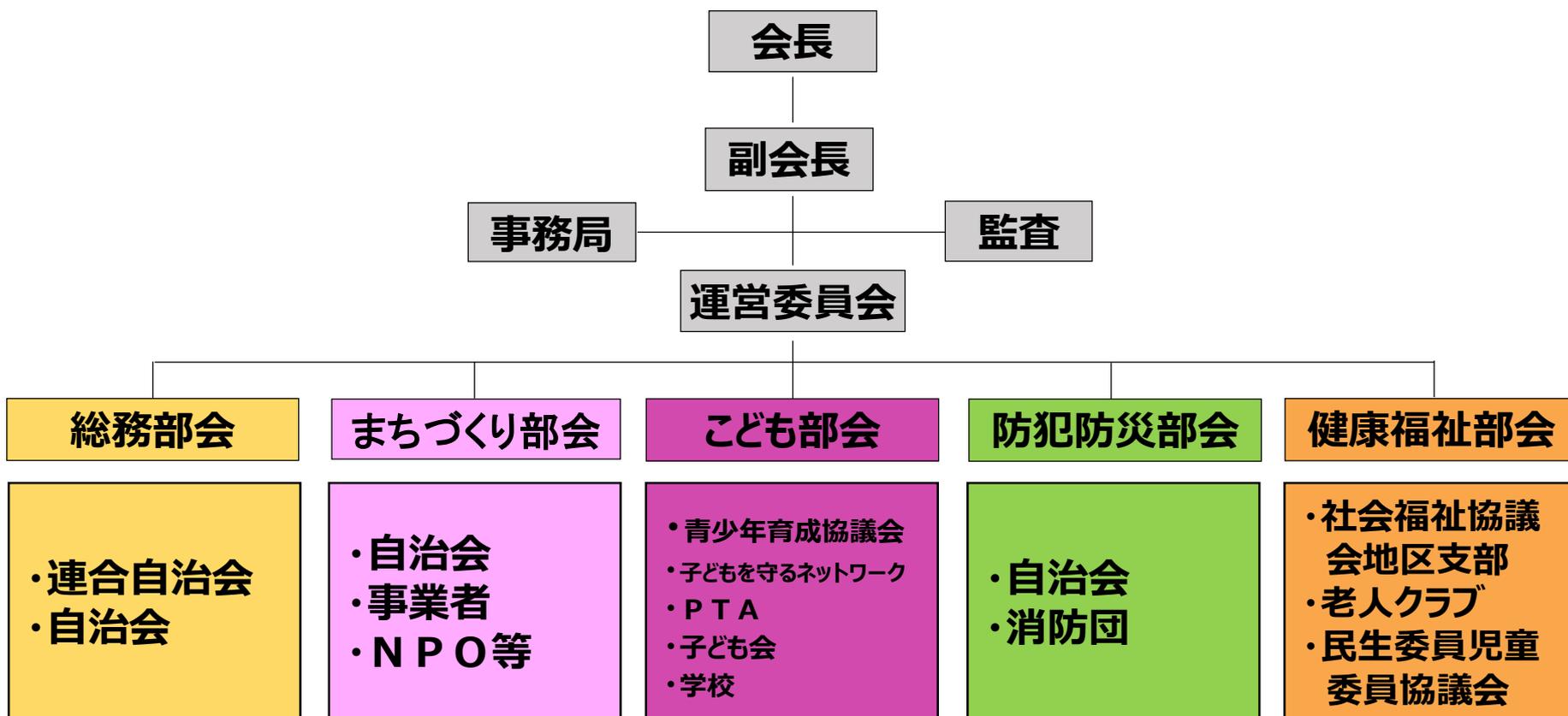
防犯防災分野



健康福祉分野

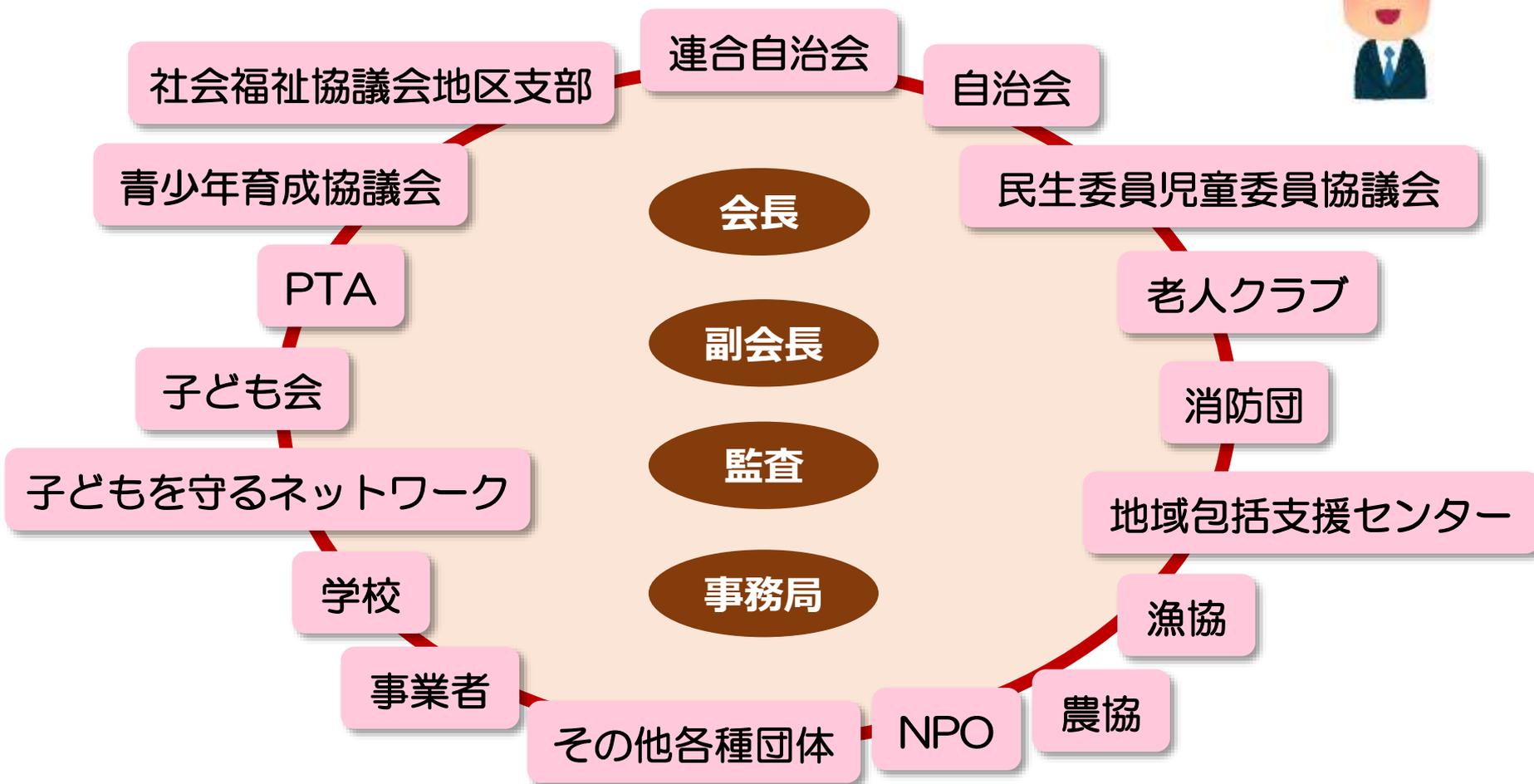
(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会

地域で決めて、地域で実行しやすい体制 (一例)



(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会

まずは、こんな形もありますよ！



目指すのは・・・

- ・住民みんながもっと参加する！
- ・団体同士がもっとつながる！
- ・地域と市役所がもっとつながる！



**もちろん、
個々の団体の活動は、
これまでどおり続けることができます**

**また、
連携のカタチは地域に
合わせて地域で決めます**



(仮称)

地域コミュニティ連絡協議会って

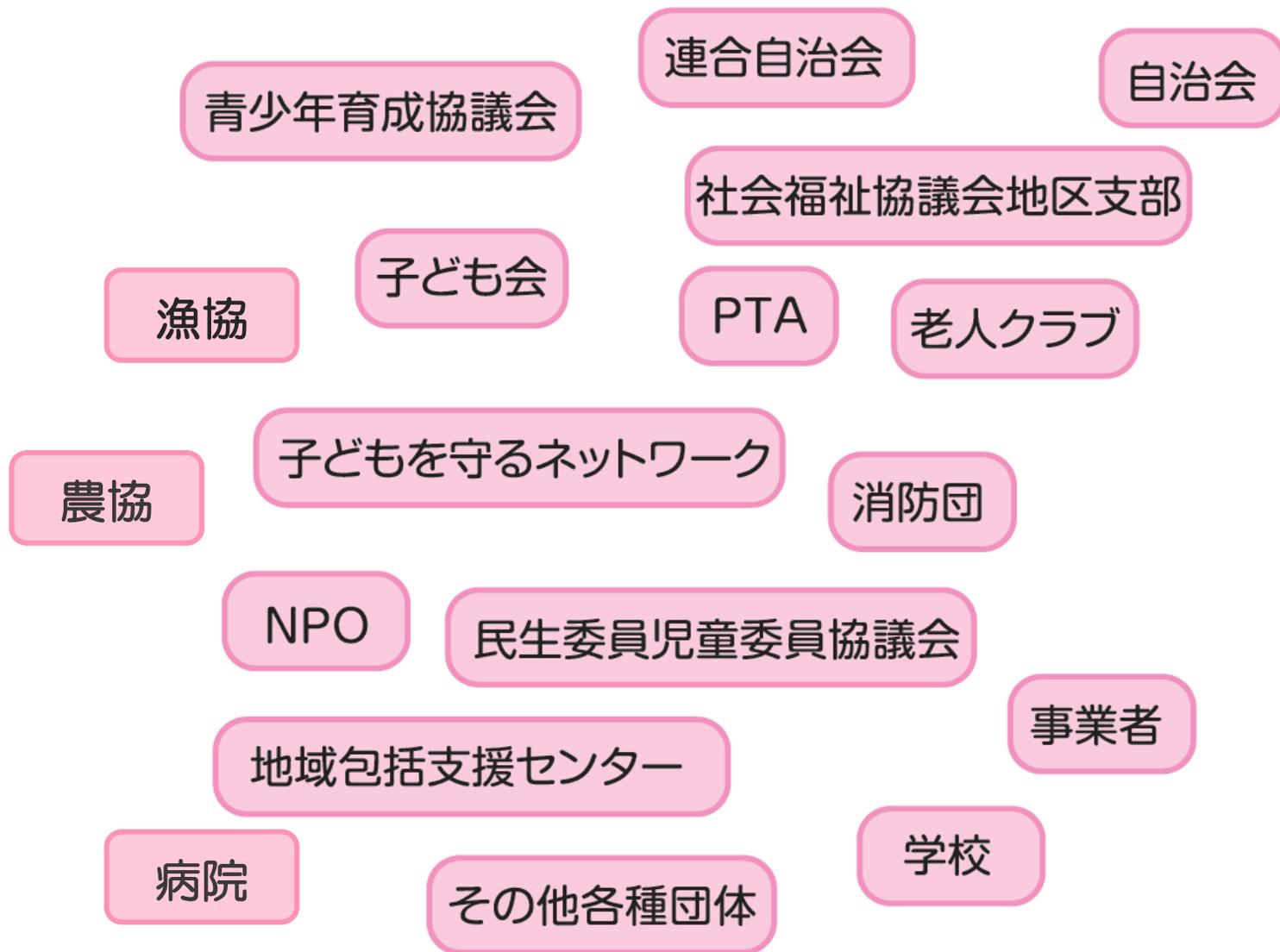
具体的に言うと？

① 範囲は？

**原則として、
現行の小学校区
または
連合自治会の区域**

②構成メンバーは？

地域のいろいろな団体



※地域の団体はほかにも色々あります。

③活動内容は？

みんなで話し合っ

- ・「こんなまちにしたい」という**地域**の**目標を決める**
- ・**必要な活動**（防犯防災・こども・高齡者・環境・文化など）を**企画**

まちづくり計画書をつくる

実行！

その他にも

- ・各団体の活動を支援・調整します
- ・地域を代表して、市との連絡調整などをします

協議会をつくと 何がよくなるの？



活動充実

例えばこんなこと



地域でできることが増えます



参加者増

例えばこんなこと



参加者やボランティアも増加
します



負担軽減

例えばこんなこと



役割分担することで、負担を
軽減できます



情報伝達

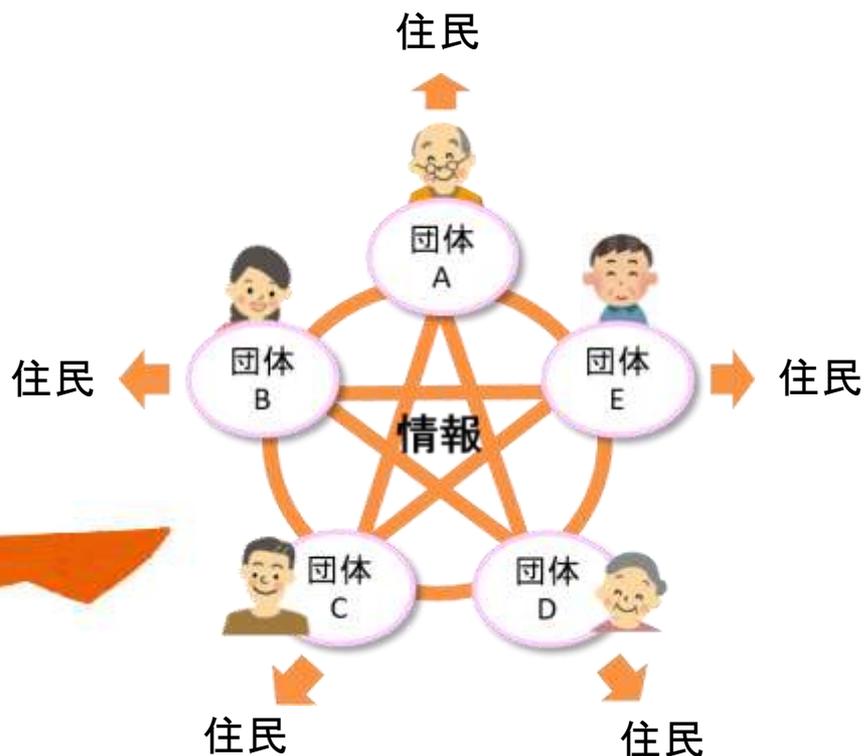
例えばこんなこと



各団体の活動や市役所の
情報を**地域全体**で**共有**できる
ようになります



情報



情報伝達

例えばこんなこと



地域の**情報紙**を発行すること
で、**たくさん**の**情報**を伝えること
ができます



人材発掘

例えばこんなこと



地域内の様々な団体や世代の方々と知り合いになれるので、
新しい人材が発掘できます



目指すのは・・・

- ・住民みんながもっと参加する！
- ・団体同士がもっとつながる！
- ・地域と市役所がもっとつながる！



市役所が（仮称）地域コミュニティ 連絡協議会を**応援**します



市役所が行う **3つの応援**





● (仮称) 地域コミュニティ連絡協議会の 設立に向けて支援します

- ・話し合いの場づくり
- ・まちづくり計画書作成



● 継続的な運営に 向けて支援をします

- ・講座、研修会の開催
- ・情報交換会の開催





- **地域センター、総合事務所にまちづくりを支援する職員を配置します**

拠点

まちづくりのための 「拠点」って何？



拠点

- **みんなが集まる場所**
- **事務局のかたがいつでもいる場所
(相談や連絡をしやすくなる)**
- **各種団体の活動など、情報が集まる場所
(情報発信や情報共有がしやすくなる)**

拠点

公共施設では、
ふれあいセンター、大型公民館、
地区公民館が考えられます

そのほか、支所や行政センター
などの**公共施設**の**活用**についても
ご相談をお受けします

拠点

市役所が運営している
地区公民館を**地域が運営**
する「**ふれあいセンター**」へ移行
し、より使いやすい施設にします

平成29年4月1日

ふれあいセンターへの
移行第1号！！

式見地区公民館がふれあいセンターへ！



いつでも集ま
れるね

いろんな情報
がわかるね



資金

(仮称) 地域コミュニティ連絡協議会に対し、

平成30年度から、**交付金**を交付

- ・**まちづくり計画書**に基づく活動を対象
- ・**交付額**には上限あり

今後の進め方

地域コミュニティ推進室の職員が、 みなさんの地区（概ね小学校区） に説明にお伺いし、ご意見をいただき ながら、しくみを作ります

A地区



B地区



C地区



D地区



地域コミュニティの新しいしくみづくりスケジュール

項目	平成29年度	平成30年度
人	● 一体的な地域運営のための体制づくりをお手伝い	
	● 講座等の開催	
拠点	● 地区公民館のふれあいセンターへの移行など	
資金	● 交付金制度（案）作成	交付金の交付開始
	地域の方々のご意見をお伺いしながら	

このしくみは、
「全市一斉・一律に立ち上げてく
ださい」というものではありません

地域のみなさんで話し合いなが
ら、みなさんのペースで進めてい
ただくものです

まずは、**地域**のみなさんで、
あなたのまちのことを話し合っ
てみませんか？



つながる



～地域を行政が応援するしくみ～

②行政サテライト機能の再編成

もっと地域を応援する市役所に変わります

今年10月から

住民



地域



連携
・
協働



市役所

【長崎市の面積】

406km²

※平成の大合併で1.7倍

長崎市 > 熊本市 > 福岡市



昭和の合併の地域⇒支所（12）

平成の合併の地域⇒行政センター（7）

今の支所・行政センターは…

支所

大きいところ
人口 30,000人



支所

職員数 7人
(正規・再任用)

小さいところ
人口 3,000人

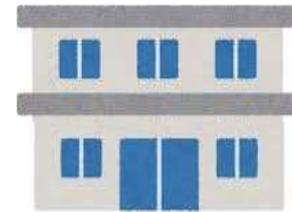


支所

職員数 5人
(正規・再任用)

行政センター

平均的なところ
人口 4,000人



行政センター

職員数 19人
(正規・再任用)

サービスの内容や規模（職員数）が違う

長崎スタイルの 見直し

3つのポイント

①近くで用事を済ますことができる

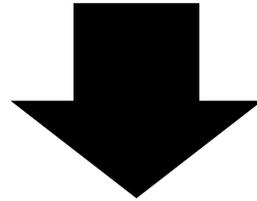
暮らしやすい地域
であるために

②困りごとをスピーディーに解決する

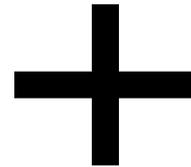
③地域の特性に合った対応をする

見直しの概要

支所と行政センター



全部「地域センター」に変わります



職員の拠点

新たに「総合事務所」をつくります

エリアで地域を見る

全体図



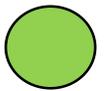
地域センター

19か所と中央

総合

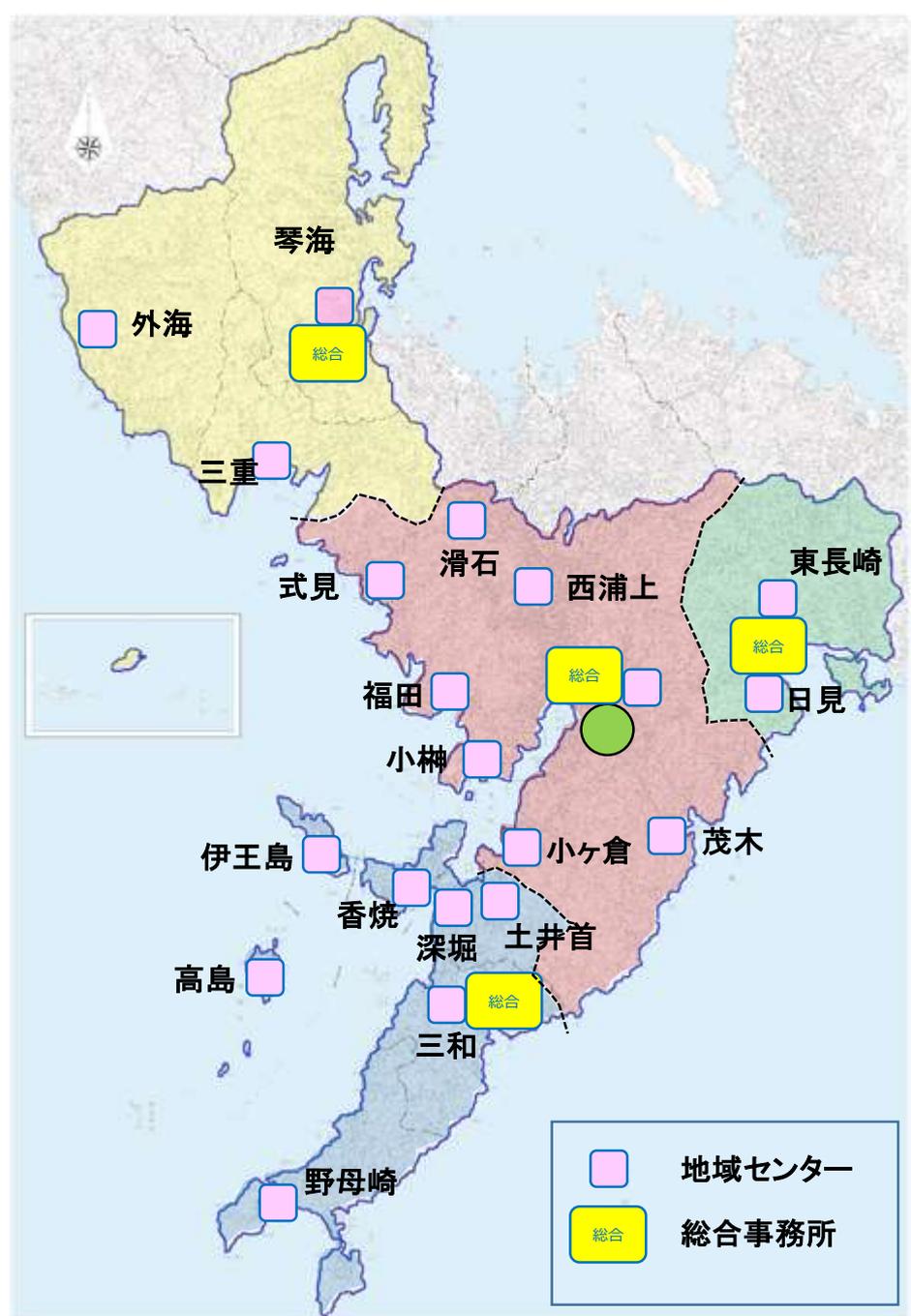
総合事務所

4か所

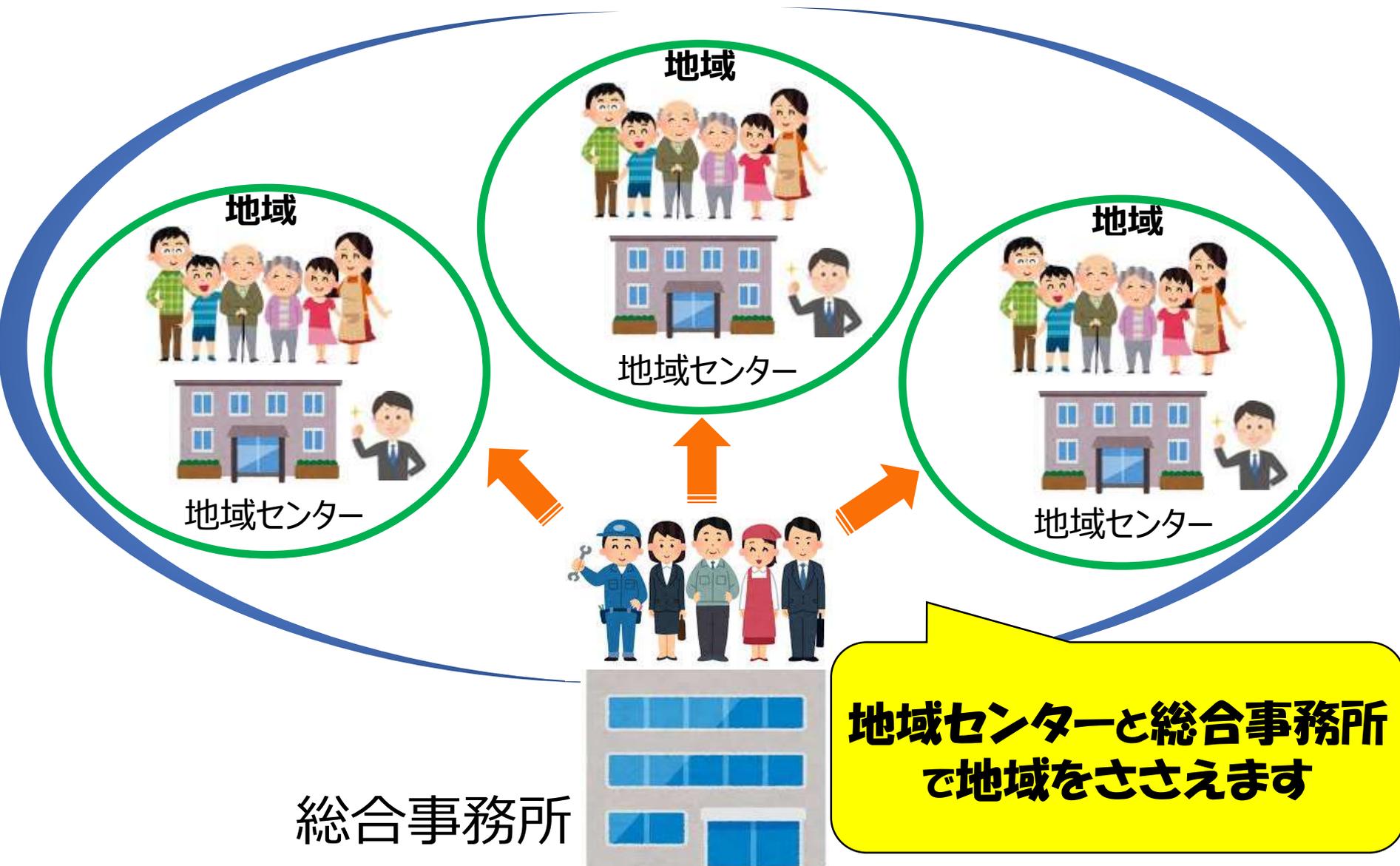


本 庁

1か所



再編成のイメージ



市民はどこに行けば？

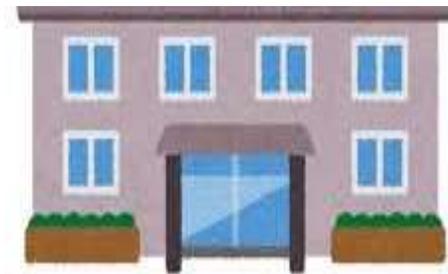
個人や地域の代表のかたは
地域センターにお越しく下さい！



手続き・相談

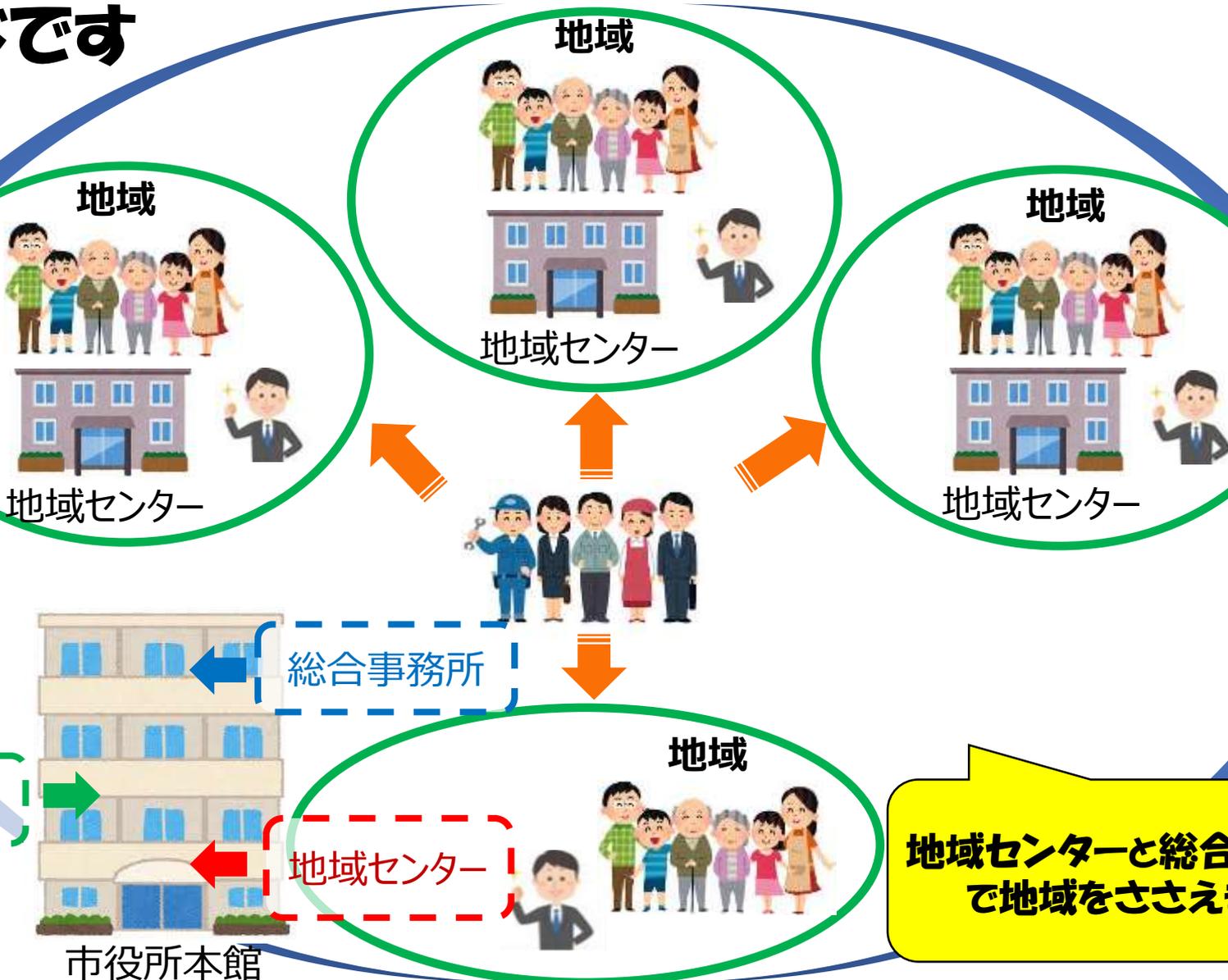


地域センター



支所・行政センター区域以外は？

同じです



地域センターと総合事務所で地域をささえます

もっと地域を応援する市役所になります

今年10月から

住民



地域



連携
・
協働



市役所

～地域を行政が応援するしくみ～

③新市庁舎の建設

新市庁舎は

**市民に親しまれ、
つながりの拠点となり、
まちのシンボルとなる
「新しい市役所」**

を目指しています

なぜ建替える必要があるの？

建替えの必要性

現在の市役所は、

- 建物が狭く、窓口が分散しています
- また、
- 建設から60年近くが経過し、老朽化が進んでいます
 - 大規模な地震に耐える十分な強度がないことが分かっています

建替えの必要性

- 耐震化の方針として、
庁舎は建替えること
- 建替え場所は、「旧公会堂及び
公会堂前公園」の敷地とすることを決定しています。



**どのような施設を
目指しているの？**

新庁舎の目指す姿

市民に親しまれ、つながりの拠点となる庁舎



市民が気軽に利用できる空間

休日や夜間における
会議室の市民利用



新庁舎の目指す姿

市民へ円滑なサービスを提供し、
効率的な事務が行える機能的な庁舎



窓口・相談環境の充実

快適な待合スペース



新庁舎の目指す姿

その他にも、

- 人と環境にやさしい庁舎
- 市民の安全・安心な暮らしを支える庁舎
- 経済的で柔軟性のある庁舎
- 開かれた議会、親しまれる議会機能を備えた庁舎 を目指しています。

規模や事業費は？

完成はいつ頃になるの？

規 模

床面積は52,500m²程度を想定しています。

事業費

258億円程度を想定しています。

完成時期

平成34年度中の完成を目指しています。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
設 計 基本設計 実施設計		建 設 工 事			

今後の進め方は？

今後の進め方

- 新庁舎建設については、これまで市民懇話会などを通して、市民のみなさんからご意見をいただくとともに、市議会においてもご議論をいただきながら検討を進めてきました
- 今後、基本設計の策定に向けても、市民のみなさんに参加いただける機会を設けていきたいと考えています

今後の進め方

5月27日(土)

- 基本設計の受注者を選ぶための、
「公開プレゼンテーション及びヒアリング」の
開催

7月頃

- 新市庁舎建設をテーマとした「講演会」
の開催

7~10月頃

- 基本設計「市民ワークショップ」の開催

だれかが、いつかは、
取り組まないといけません。

しくみの骨組みをつくれば、
その後は少しずつの工夫で
改善することができます。

今やらなければ、
どこかで急激な変化が
必要になると思っています。

みなさん一緒に

暮らしやすいまちづくりを

進めていきましょう！



まちをみんなで作る

自分たちのまちは自分たちでよくする

ご清聴ありがとうございました